

進路通信

伊丹市立天王寺川中学校第2学年
令和2年2月13日 第16号

～進路実現を目指して～

進路通信を通して入試や進路についていろいろと書きましたが、今回は少し目線を変えて「日々の学習」について書かせていただきます。前回の実力テストが終わり、結果がプロフィールを通してご家庭に伝わっていると思います。全体的に、まだまだ学力不足を痛感する結果ではないかと思います。「この先どうすればよいのか」「うちの子は大丈夫だろうか？」など進路に対して不安を抱いている方が多いと思います。今回の実力テストを通じて学年で考えなければと思ったのが、「宿題」の取り組みです。例えば、毎日の課題であるデイリーワークの提出状況や丸付けをした用紙を見ると、残念ながら家で真剣に取り組んでいない生徒が多いように思います。恐らく「何故デイリー課題に取り組む必要があるのか」という部分が、学年が子ども達やご家庭に伝え切れていない部分だと思っています。そこで今回、何故デイリー課題を行うのかについて書かせていただきます。

デイリー課題を行う理由は2つあります。1つ目は、「基礎学力の向上」です。基本的な学力は日々の予習や復習で培われていきます。しかし、生徒達の中には「どのようにすれば良いのか」が分からない子が多いと思います。その手立ての1つとして、デイリー課題を学年では出しております。基礎学力はどのような進路を切り開くにも必要なものです。そのための活動であることをご理解下さい。

デイリー課題を出している理由の2つ目は「学習習慣の定着」です。3年生になればどの子もみんな「受験生」になります。自分の進路を切り開くためには、勉強をする必要があります。しかし、勉強するにも習慣がなければなかなか机に向かうことはできません。急に机に向かって勉強ができるようには、残念ながらなりません。そこで、3年生の時にスムーズなスタートを切れるように、机に向かう習慣付けとしてデイリー課題を出しております。それぞれの進路実現に向けた取り組みとして行っておりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

～質問に対する答え～ ※15号の続きになっております。ご了承ください。～

Q15.オープン・ハイスクールの一覧表が欲しいのですが、ないでしょうか？

A15.結論から言うと多くの学校がオープン・ハイスクールや学校説明会などを実施しているため、一覧にまとめることは厳しいです。兵庫県の公立高校は「兵庫県教育委員会」のホームページから「ホーム→事務局各課→高校教育課→魅力・特色ある高校づくりの取組→オープン・ハイスクール等の実施について」の順でページを進んでいけば令和元年度の一覧を見ることができ来ます。恐らく令和2年度も同じように発表されると思いますので、5月頃からご確認下さい。他府県に関しても同様に、教育委員会のホームページに記載されている場合があるのでご確認下さい。私学の場合、大阪府に関しては「大阪私立中学校高等学校連合会」に一覧がありますのでご確認下さい。兵庫県に関しては「兵庫県私立中学高等学校連合会」の中から希望する学校のホームページを選んで学校毎にご確認下さい。分かりにくい場合、もしくはそれ以外の学校につきましては、参加したい学校のホームページをご確認ください。

Q16.入試問題にはやっぱり暗記系の語句問題などではなく、難しい記述問題や応用問題ばかりですか？

A16.入試は受験（受検）する学校や一般・推薦・特色などによって異なります。基本的な内容が多い学校もあれば、記述問題や応用問題が多い学校もあります。興味がある学校に関しては、可能な限り過去の入試問題を確認してみましょう。しかし、どの学校も共通していることがあります。それは、「基本的なことを覚えたり、解いたりできないとどんな問題も解くことができない」ということです。つまり、「今のうちから宿題や予習・復習をしっかりと行い、基礎学力を身につけていなければ歯が立たない」ということです。残念ながら入試は心配していても、日々の学習が疎かになったり、テストを甘く考えていい加減に取り組んだりしている人が現状多いです。今からでも遅くありません。意識を改めて、自分の進路を切り開けるように日々の学習をしっかりと行いましょう。目安は「平日3時間、休日5時間」です。頑張りましょう。

一方は「これで十分だ」と考えるが、もう一方は「まだ足りないかもしれない」と考える。
そうした言わば紙一重の差が大きな成果の成果を生む。 松下幸之助